



【自主 敬愛 勇健】 ～生徒が自信をもって生き生きと活動する学校～

< 3学期がスタートしました > ～1年間の締めくくりにふさわしい3学期にしよう～

短い冬休みでしたが、寒くても軽やかな足取りで登校する姿や仲間と笑顔で会話する姿から、休みを計画的に過ごし、十分に心身を休めることができたことを感じ取れます。また、事故等の報告がなかったことから、安全と健康を意識しながら休みを過ごしてくれたことと思っています。

さて、3学期は1年間で一番短い学期で、登校日数は48日です。あっという間に4月がやってきてしまいますので、生徒の皆さんには、1日1日を仲間とともに楽しく過ごし、充実した3学期にしてほしいです。私たち学校職員も限られた時間を大切にしながら過ごしていきたいと思っています。

3学期の始業式は体育館で行いました。体育館内は、ストーブがあっても寒さが緩まない状況でありましたが、体を動かすことなく、人の話を注意して聴いている全校生徒の様子にとっても感心しました。私は生来寒がりなのですが、生徒の立派な姿を見ていたら、体が熱くなり、寒さが吹き飛んでしまいました。おかげで、寒さで声が出しにくいということはなく、計画通りの時間で話をすることができました。

校長講話では、「3学期は1年間のまとめの学期」であることに触れ、「次の1年に向けて様々な面で改善をしなければならない学期であるが、特に仲間とのつながりを見つめ直して、今よりも良好にしてほしい」ということを伝えました。また、仲間からの感謝の言葉や励ましの言葉は、心身にとっても大きな影響を与えることをスライドや動画を使って伝えました。仲間と楽しく過ごした思い出は一生の宝になります。私も中学校の思い出と言えば、仲間と過ごした楽しい日々がすぐに思い浮かんできます。全校の皆さんには、「この仲間と1年間一緒に過ごすことができ本当によかった」という思いをもって、進級、卒業をしてほしいと思っています。

保護者の皆様、明けましておめでとうございます。短い3学期ですが、私たち職員一同、生徒が新年度に向けてさらに成長できるように努めて参ります。今年もお世話になりますが、何卒、よろしく願いいたします。

< 合唱曲「大地讃頌」 > ～「大地讃頌」を響かせ、感動の卒業式をつくりあげましょう～

卒業式に「大地讃頌」を全校で歌いたいという生徒の希望により、2学期末から練習に取り組みはじめました。生徒の練習の様子を参観してきましたが、難しい曲なのに、あっという間に4つのパートを全校で合わせられるようになったことに驚いています。合唱の力が高まってきているからだと思います。秋の合唱コンクールに向けて練習している様子からも、私はそのことを感じていましたので、2学期の終業式に、「合唱は北中生の魅力の一つであるから、これから自信をもって取り組んでほしい」と伝えました。

一昔前までは、「大地讃頌」と言えば、まるで長野県の合唱曲であるかのように、多くの学校で歌われていました。私も中学校に勤務していた時は、毎年、生徒と一緒に歌ってききましたので、各パートの音は体に染みついていて、楽譜がなくても歌うことができます。とても懐かしいです。保護者の皆様にも歌った経験のある方が多くいらっしゃるのではないかと思います。再び、この合唱曲を聴くことができるということを考えると、聴いてもいないのに鳥肌がたってしまいます。

全校の皆さん、「大地讃頌」を体育館中に響かせ、感動の卒業式をつくりあげましょう。

